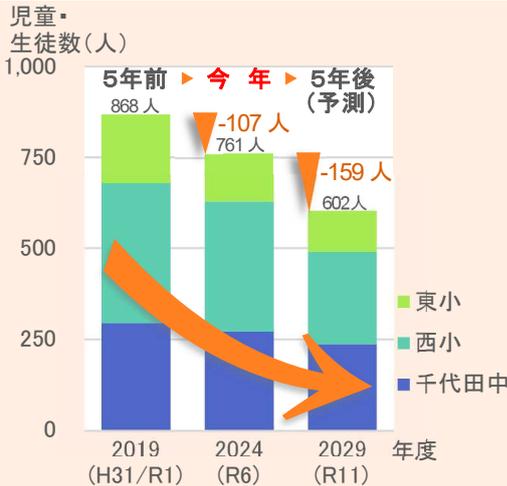


千代田町における学校教育施設の現状と課題

町内にある千代田中学校・西小学校・東小学校の3小中学校には、**2つの大きな課題**があります。

千代田町に育ち、千代田町の将来を支える子どもたちの学びの場を守ることを最優先に、地域の防災、多世代交流、省エネルギーなど、これからの千代田町としてあるべき学校の姿を、町民の皆様のご意見を参考にしながら、実現したいと考えています。



課題1 児童・生徒数の減少

少子化は千代田町でも進んでいます。今年度卒業予定の中学校3年生は92人ですが、現在の小学校1年生は63人です。現在の小学校1年生は8年後の中学校3年生ですから、8年でだいぶ減ってしまうのが現状です。

少人数教育が可能になる、という良い点はありますが、その一方で少子化が進んだ学校では、集団で実施する学びや活動の機会(運動会、クラブ・部活動 など)が成立しにくくなり、子どもたちの学び・体験の機会は減ってしまいがちです。

「**少人数教育の良いところ**」もあって
「**集団で行う学びや活動の機会**」が得られる
そんな学校がつかれないでしょうか？

学校	校舎	竣工年	経過年数
千代田中	校舎	昭和43 (1968)年	56年
西小	北校舎	昭和54 (1979)年	45年
	南校舎	昭和60 (1985)年	39年
東小	北校舎	昭和50 (1975)年	49年
	南校舎	昭和59 (1984)年	40年

課題2 学校施設の老朽化

鉄筋コンクリート造の校舎は、これまで築40年ほどで建替えられることが多かったそうです。千代田中も、少し後につくった西小、東小も、あちこち劣化が目立ち始めています。

長寿命化工事で80年使うことも可能といわれますが、子どもたちが学校を使いながら、それぞれの校舎を1年以上かけて、莫大な費用を投じて工事をするのはあまり現実的とはいえません。

「**今の子どもたちの学習環境**」を守りながら
「**これからの千代田町の学校教育**」が実現できる
町の将来を支える世代の学校のあり方とは？

千代田町に適した小中学校の実現のためには？

千代田中、西小、東小それぞれの校舎を使いながら改修する以外にも、今の学習環境に影響しない場所に

- ・ **少人数教育にも対応できる校舎**
- ・ **小学校1年生から中学校3年生が交流する場**
- ・ **これからの学習環境に適した設備**
- ・ **これからの千代田町の児童生徒数に合う教室数**

を実現した学校をつくる案もあるのでは？と考え、方向性のひとつとして検討しています。

少子化、教育の多様化(GIGAスクール、エコスクール など)に適応した教育環境を実現しながらも、町の将来を支える子どもたちの学びの場を大切にするため、千代田町に適した小中一貫校も方向性のひとつとして、今後の検討を進めて行きたいと思っています。

右のQRコード、または下のURLからアンケートへご協力ください。
<https://logoform.jp/form/xF3b/hogoya>

